

添付資料（１）環境整備事業—公民館横墓所の大木枝落とし—

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成22年5月29日 8:30~15:00	天候	曇
参加者数	24名	報道等	なし
実施内容	環境整備事業	けが・事故等	なし

活動の状況

公民館横の墓所（経塚）の大木が台風などで倒れたら、公民館が損壊するのではないかとということで、大木（楠、椎の木、クヌギ）を根元から2mぐらいの所から枝を切り落とし作業をした。

藤野会長の勤務建設会社の高所作業車とオペレーター（2名の方）に依頼した。

1. 作業前の諸注意



2. 作業の状況



大木の枝打ち：いつかはしなければならぬ維持管理です。この場所の大木をあと数年、十数年、何もしないでいたら、大変な問題を次世代に残してしまうことになるのではないのでしょうか。この日の作業は、時期を得た、いい仕事をしたのではないかと思います

資料（２）環境教育—自然観察会—

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成22年9月19日9:00～	天候	晴れ
参加者数	31人	報道等	なし
実施内容	環境教育	けが・事故等	なし

※実施状況（画像データを添付）

筑紫野市市民生活部環境保全課・九州環境管理協会よりの呼びかけ依頼に天山ふれあい会が参加した。

「筑紫野市では市内の良好な生態系を有する地域もしくは生態系保全のかなめとなる地域を“環境指標の森(仮称)”として設定し、市民の方々に、身近な環境に目を向けていただく機会を提供する取り組みを行っています。」

1. 参加者：「参加人数31人（内訳：指導者側の人数7人+2人、天山区外の人3人、天山区民19人）」
2. 行程：天山公民館→高木神社→童男男女岩→宮地岳稜線（蘆城城跡）の折り返し
3. 活動の状況（1）天山公民館での出発式、指導者及び参加者の自己紹介と諸注意

天山ふれあい会藤野会長のあいさつがあって、斎城さん、藤井さん、溝口さん、藤原さん、池松さんの自己紹介。高木神社に向かって出発。



（2）高木神社で冷川さん、渡部さんの自己紹介と冷川さんの「高木神社の由来で明治初めの廃仏毀釈以前は高木神社が「大行事社」であったことなどのお話を聞きました



（3）渡部先生から、高木神社には「むささび」の生息地であることを、ムササビが食べたクスノキの葉っぱのかじり具合から話してくれました。



今日の自然観察会のまとめを冷川先生、渡部先生からしていただきました。冷川先生のお話で『昔民家に近い場所は茅場（屋根葺きのかやをとる場所）、高いところは燃料の薪をとる雑木林として活用し保全されていた素晴らしい森であること』を学習しました。

添付資料（3）環境教育—阿志岐小学校自然観察会—

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成22年11月22日 8:30～11:30	天候	晴れ
参加者数	36人	報道等	なし
実施内容	環境教育—阿志岐小学校自然観察会—	けが・事故等	なし

※実施状況（画像データを添付）

阿志岐小学校5年生は国語の教材「森林のおくりもの」を頭の中・机上で学習しました。今日は、その学習を通して、より豊かな知識・感性を磨く現地環境教育です。

1. 参加者：阿志岐小学校5年生27人、森林インストラクター会」の講師4人、保護者他5人
2. 阿志岐小学校自然観察会作日程・内容：

(1) 出発式：阿志岐小学校9：00、「森林インストラクター会」の講師の先生方の紹介、保護者の方々や関係者の紹介のあとストレッチ体操、ルーペ（虫眼鏡、）観察野帳を持って、班ごとに出発。5年生は27人で4班に分かれ、それぞれに講師の先生が説明にあたられました。



高木神社での学習



〇〇もみじ（〇〇かえで）？



「童男卅女岩」ふれあい広場での学習



森林の働きまとめの紙芝居で楽しく学習しました



添付資料（４）森林保全活動 天山山保全１（雑木除伐採活動）H22.11.14

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成22年11月14日8:30～11:30	天候	曇
参加者数	34名	報道等	なし
実施内容	天山山保全1（雑木除伐採活動）	けが・事故等	なし

※実施状況（画像データを添付）

天山共有林管理組合と天山ふれあい会の共同作業で、童男男女岩下の雑木除伐採作業を行いました。

昨年7月26日の大雨で谷の1つが土石流となって崩れ落ちました。裏の里山は天山区だけでなく宮地岳周辺の行政区の命の水の水源であり、宝満川流域の田畑を守っている山=森林でもあります。

1. 参加者：34名

2. 作業日程・内容：

①8:30 高木神社集合、作業の趣旨・作業内容説明。安全管理説明と準備運動

②現場到着9:00、土砂流出・崩落を防ぐために林間に日の光を通して下草が生えるように雑木低木の伐採。作業は30分、休憩10分で行い、9時10分ごろから11時30分まで4回に区切った作業を、数人ずつのグループを作り、その単位での作業指示を行い、安全確保に努めました。



(1) 作業は、笛の合図とハンドマイクで「作業始め」「作業中止」というスタイルで、安全を確保した。

チェーンや草刈り機を使っていると作業本人には機械音が大きいので、なかなか人の声の「作業始め」「作業中止」だけでは、命令が徹底しない。チェーン1台作業者と数人が一組になり、作業場所をはなれて作業しました。



●チェーンで切り倒した雑木の枝打ちをして、大雨の時などに流れ落ちないように水平に置いて行きました。こうすることによって、谷間に落ちていかず、土石流の防止になる。



●童男卯女岩付近の草刈り。たいへん伸びた笹竹を刈り取る。紅葉もはじまっています。



●事故もなく、怪我もなく無事終了。本当にご苦労様でした。

●里山はこうして守られています。

このような活動も認知され、昨年の土石流で流れ落ちた谷の災害復旧工事が県の事業として始まります。また、土砂で埋まった檀徒池も土砂取り除き工事も市の工事としておこなわれることになりました。



添付資料（５）環境整備事業—桜苗木植樹—

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成23年2月13日 9:00～11:30	天候	晴れ
参加者数	14名	報道等	なし
実施内容	多目的広場堤土手に桜苗木植樹	けが・事故等	なし

※実施状況（画像データを添付）

1. 参加者：14名
2. 植樹場所：天山561番地「下ムチカケ池堤土手」（多目的広場堤土手）
3. 作業日程・内容：多目的広場堤土手に桜苗木植樹 9:00～11:30

（１）資材購入（桜の木10本と肥料）



（２）作業状況

昨年度は堤土手の上に、本年度は堤土手の中段に植樹

